



リン先生の授業風景

仕事をすることになりました。
今あなたは「外人」なのです。
まず、カナダに着くや否や、
「国際化について」「日本とカナダの違いについて」というテーマで、あちらこちらからスピーチを求められたら、一体どんなことを話しますか？
二カ月後、日本にいる家族や友人に、よくされる質問について手紙を書きます。
○ナイフとフォークは使えますか？
○パンは食べられますか？
○ムース（水牛）の肉は食べられますか？
○カナダ人と結婚してもいいと思いますか？
○料理はできますか？

そして、こんなおもしろい話を道歩いてみると、小さな子供たちに指さされて「日本人だ！日本人だ！」と呼ばれました。この間、駅で中年女性が二人、私をじっと見てこう言いました。
「あらー、随分低い鼻ねー！」
おまけにその人たちは、私には英語なんか分かりっこないと思いついて入っているようでした……。
離れがたい、心の古里・大館
大館に住んで、早いものでもう二年がたとうとしています。ここで、大館のみなさんにお別れのごあいさつをしたいと思っています。
これまで度々「こんな田舎によくいらつしやいましたね。」とか、「カナダに帰りたくありませんか。」と聞かれたものですが、しかし大館では都会では望めない人間関係の細やかさに触れることができた。来ることできて本当によかったと思っています。学校でも教育委員会でもブライベートな面でも、私という人間をみなさんがよく知ってくださるようになり、いつでも、どこでも、とてもリラックスすることができました。
私は今、心から大館を古里のように思い、離れがたく感じております。

8月18日

大館「米の日」

愛情料理への挑戦

市では、市民の皆さんや県内外の多くの人に「米」に対する理解を深めていただくとともに、生産者と消費者が一体となって米の消費拡大を図り、稲作を中心とした地域農業を守り発展させるため、昨年（平成18年）を「米の日」に制定しました。
この日の意義を理解していただくため、各種イベントの一環として次のことを行います。皆さんの応募をお待ちしています。

レディー・ライスクッキング・コンテスト

〈募集料理〉

「ふるさとの素材を使った私の自慢の料理」
ご飯料理で、山菜等のふるさとの素材を使ったもの

「私の自慢の弁当」

※材料費は1人前1,000円以内とします。

〈応募資格〉

市内に居住する高校生以上の女性（学生は市内の各学校に在籍していること）

〈応募方法〉

・1人何点でも応募できます
・イラストまたは写真を添付した応募用紙を送付のこと

〈締め切り〉

7月31日（金）

※応募用紙は農林課、各公民館、市内各高校に備え付けています。
※応募作品は8月10日午前10時から中央公民館調理室で試作のうえ、審査を行います。表彰作品は8月18日市民文化会館に展示します。

〈応募及び問い合わせ〉

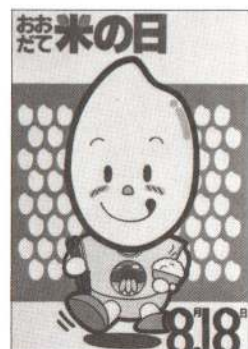
農林課「米の日実行委員会」
（内線290）

あなたの知人・友人に「あきたこまち」をプレゼント

プレゼント

〈対象〉

市民の皆さんの知人・友人で県外在住者（東北6県と新潟県を除く）



〈受け付け〉

7月20日（金）から受け付けし、先着818人（1人1袋・500g入）で締め切ります。

〈申込先〉

農林課・大館市農協本所・市内米穀販売店・市内各生協

※申し込み用紙は各窓口に備え付けています。記載例に準じて用紙を作成し、お持ちいただいても結構です。

あきたこまちプレゼント用紙記載例	
お届け先	〒100-1-11 住所 東京都千代田区神田1丁目1番1号 おなまえ () 様方 東京 五郎 様 でんわ 03 (123) 9876
ご依頼主	〒017-1-11 住所 秋田県大館市字中城20番地 おなまえ () 様方 大館 太郎 様 でんわ 0186 (49) 3111

※住所は番地まで記入ください。
※送料も市で負担します。
□「米の日」についての問い合わせは、農林課（内線290、294）へどうぞ